

# ドイツ医学中央図書館の活動

酒井由紀子

慶應義塾大学信濃町メディアセンター

## 1.沿革および特徴

ケルンにある医学中央図書館（Zentralbibliothek der Medizin, ZBmed=German National Library of Medicine）は、特定の主題分野について連邦全域にサービスを提供するドイツの中央専門図書館のひとつである。1969年に西ドイツの医学中央図書館として、ケルン大学の医学図書館に併設された。2001年にはボンにある農学中央図書館が組織的に統合され、対象とする分野が拡大されている。

ドイツの地方分権的な行政制度を反映して、予算の30%は連邦政府から、残りの70%をすべての州政府からの協同出資として受けている。医学関連分野の専門図書館としてヨーロッパで最大規模であり、文献提供においてはヨーロッパ大陸で最大級の規模を処理している。

## 2.蔵書

蔵書は約130万冊で、多くのものが英語である。雑誌は7,800タイトルをカレントに受け入れ、電子ジャーナルは別途ケルン大学として4,000タイトルを購読している。一般的な出版物以外に会議資料や報告書も収集している。また、患者・一般向け図書も3年前から収集を始めた。資料費には450万ユーロ（2004年）を支出している。

## 3.サービスと研究開発

文献提供はサービスの大きな柱で、年間約600,000件、1日平均約2,000件を処理している。利用の半数（52%）はドイツ国内からであるが、45%はヨーロッパのほかの国から、残り3%がそのほかの国からである。料金は処理速度および利用者の所属によって異なる。

研究開発にも力をいれ、様々な新たなサービスインターフェースを提供している。医学論文のフリーアクセスサイト gms（German Medical Science）や医学ポータル MedPilot、医学分野のドイツ語雑誌のデータベース CCMed などがある

ドイツに3館設けられている中央専門図書館は、いずれも既存の機関に併設され、分散型の学術情報システムの一部を担う位置づけとなっている。日本の拠点図書館（現在の外国雑誌センター）の参考のひとつにもなったと言われている。米国国立医学図書館が頂点に立つ米国の医学情報提供のしくみとは対照的であるが、学術情報システムのひとつのモデルとして、2005年8月の訪問調査および文献調査にもとづいて報告するものである。

## 参考)

ZBmed <http://www.zbmed.de>

原淳之. ドイツ連邦共和国の図書館. In: 寺田光孝編. 世界の図書館(図書館・情報メディア双書2) 東京, 勉誠出版, 1999. p.79-98

Wattenberg U. 西ドイツの医学中央図書館について. 医学図書館 1984; 31(1):30-33.